

令和4年10月25日

保護者の皆様

旭川市立旭川第三小学校

校長 三木 勝 仁

野生生物との関わり方について（お願い）

旭川にも白鳥が飛来し、川面で羽を休める水鳥たちが見られる頃となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、本校の校区は忠別川と牛朱別川の間に位置し、農業用水のための小さな川や水田など、野生生物の活動場所となるところが多くあり、住宅地でありながら野生生物の姿を目にする自然豊かな環境にあります。この恵まれた環境を生かして、生命の大切さや野生生物との適切な関わり方、自然環境の保護・保全について、子ども達の学びを深めていきたいと考えております。

つきましては、野生生物との関わり方について、下記のように学校として指導していることをお知らせします。ご家庭でもどのような関わり方が適切なのか、機会を見つけて、話し合っただけだと幸いです。

記

■キツネ

（エキノコックスが寄生している可能性があります。）

- ・「エサを与えない」「近づかない」「触ろうとしない」を指導します。
- ・他の野生生物についても同様です。

※エキノコックス……ヒトに重い肝臓機能障害を引き起こす「エキノコックス症」の原因となる寄生虫

■野鳥、野生生物の死骸やフン

（寄生虫、病原菌、雑菌が繁殖している可能性があります。）

- ・死骸やフンには、「触らないこと」を指導します。
- ・死骸を見付けたら大人に、「知らせること」を指導します。
- ・もし触ってしまったら、「必ず石けんで手を洗うこと」を指導します。